

見附市告示第 1 1 2 号

地方公営企業法（昭和 27 年 法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項

の規定により見附市水道事業・下水道事業及び病院事業の業務を説

明する書類を別紙のとおり公表します。

令和 7 年 7 月 1 日

見附市長 稲 田 亮

見附市水道事業業務状況報告書
(令和6年10月1日～令和7年3月31日)

1 事業の概況

当期も市民生活に不可欠な水道水を安定供給するとともに、事業の健全経営に努めてまいりました。

当期の有収水量は2,807,120㎥で、前年度同期の2,815,711㎥から8,591㎥減少しました。
給水収益(税抜き)は439,144,660円で、前年度同期の440,372,435円から1,227,775円減少しました。家庭用節水機器の普及や、人口減少による使用水量の減少が要因と思われます。

当期の施設・設備の維持整備は下表のとおりです。

工事の別	事 由	件 数	工事費
建設工事	開発行為による消火栓新設工事	1件	9,855千円
改良工事	信濃川取水場 導水ポンプ2号更新工事	1件	16,200千円
	信濃川取水場 導水ポンプ1号分解整備工事	1件	5,335千円
	老朽による配水管布設替工事	2件	39,120千円
	下水道工事による配水管布設替工事	1件	1,208千円
	開発行為による消火栓布設替工事	1件	5,380千円
設 備	水道メータ取付	一式	865千円
	ホイールローダー 購入	一式	3,685千円
保存工事	配水施設の保存工事	4件	3,983千円

今後も更なる企業努力を図り、安定供給と市民サービスの向上に努めます。

2 工 事

(1) 建設工事の概況

(ア) 配水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	施工場所
27	消火栓新設、消火栓布設替工事	地下式単口1基	3,155,900	芝野町外
		地下式単口1基	6,699,000	
計			9,854,900	

(2) 改良工事の概況

(ア) 導水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	施工場所
設29	信濃川取水場 導水ポンプ2号更新工事	一式	16,199,700	長岡市川袋町
設33	信濃川取水場 導水ポンプ1号分解整備工事	一式	5,335,000	長岡市川袋町
計			21,534,700	

(イ) 配水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	施工場所
24	配水管布設替及び給水管取付替工事	DCIP(耐震型) φ200 L=111.8m	17,690,200	学校町2丁目
		DCIP(耐震型) φ200 L=3.5m	1,546,600	
		DCIP(耐震型) φ150 L=0.9m	861,300	
		DCIP(耐震型) φ100 L=2.9m	918,500	
25	配水管布設替及び給水管取付替工事	HPPE φ75 L=15.5m	8,896,800	庄川町
		HPPE φ75 L=35.2m	9,207,000	
26	配水管布設替及び給水管取付替工事	HPPE φ75 L=5.0m	1,207,800	市野坪町
27	消火栓新設、消火栓布設替工事	地下式単口1基	5,380,100	芝野町外
計			45,708,300	

(3) 設備等の概況

内 容	金 額	備 考
水道メーター取付	865,150	
ホイールローダー 購入	3,685,000	
計	4,550,150	

(4) 保存工事の概況

(ア) 配水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	施工場所
24	配水管布設替及び給水管取付替工事	給水管取付替5箇所	1,008,700	学校町2丁目
25	配水管布設替及び給水管取付替工事	給水管取付替2箇所	717,200	庄川町
26	配水管布設替及び給水管取付替工事	給水管取付替2箇所	1,322,200	市野坪町
28	排泥管設置工事	排泥管設置2箇所	935,000	名木野町
計			3,983,100	

3 業 務

(1) 業 務 量

事 項		令和6年度 (10月～3月)	令和5年度 (10月～3月)	比 較	
				増 減	比 率 (%)
当 期 取 水 量 (m ³)		3, 194, 143	3, 191, 328	2, 815	100. 1
当 期 配 水 量 (m ³)		3, 221, 355	3, 210, 166	11, 189	100. 3
1 日 平 均 配 水 量 (m ³)		17, 700	17, 638	62	100. 4
当 期 末 給 水 栓 数 (栓)		20, 137	20, 160	△ 23	99. 9
内 訳 (栓)	φ 13～25	19, 847	19, 868	△ 21	99. 9
	φ 40～50	257	260	△ 3	98. 8
	φ 75	28	27	1	103. 7
	φ 100	5	5	0	100. 0
当 期 有 収 水 量 (m ³)		2, 807, 120	2, 815, 711	△ 8, 591	99. 7
内 訳 (m ³)	φ 13～25	2, 291, 439	2, 324, 300	△ 32, 861	98. 6
	φ 40～50	347, 432	348, 782	△ 1, 350	99. 6
	φ 75	154, 989	127, 671	27, 318	121. 4
	φ 100	13, 260	14, 958	△ 1, 698	88. 6
有 収 水 量 率 (%)		87. 1	87. 7	△ 0. 6	99. 4

(2) 予算執行状況

(ア) 収益的收入及び支出

収 入

区 分	現計予算	収入額	執行率	備 考
	円	円		
第1款 水道事業収益	1,314,000,000	652,179,128	49.6	(うち仮受消費税
第1項 営業収益	1,039,006,000	514,168,791	49.5	45,503,058 円)
第2項 営業外収益	274,894,000	138,006,872	50.2	(うち仮受消費税
第3項 特別利益	100,000	3,465	3.5	326,458 円)
				(うち仮受消費税
				315 円)

支 出

区 分	現計予算	支出額	執行率	備 考
	円	円		
第1款 水道事業費	1,333,367,200	777,181,872	58.3	(うち仮払消費税
第1項 営業費用	1,259,878,200	740,466,820	58.8	31,761,117 円)
第2項 営業外費用	73,289,000	32,620,354	44.5	(うち仮払消費税
第3項 特別損失	100,000	4,094,698	4,094.6	-735 円)
第4項 予備費	100,000	0	0.0	(確定消費税
				7,257,500 円)

(イ) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	現計予算	収入額	執行率	備 考
第1款 資本的収入	円 463,258,000	円 218,036,300	47.1%	(うち仮受消費税 985,300 円)
第1項 企業債	398,400,000	200,000,000	50.2%	
第2項 負担金	64,858,000	18,036,300	27.8%	

支 出

区 分	現計予算	支出額	執行率	備 考
第1款 資本的支出	円 866,933,280	円 510,144,886	58.8%	(うち仮払消費税 35,039,351 円)
第1項 建設改良費	648,604,280	400,426,735	61.7%	
第2項 企業債償還金	218,329,000	109,718,151	50.2%	

(3) 財務諸表

(ア) 見附市水道事業損益計算書
(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

1	営業収益	円	円	円
(1)	給水収益	439,144,660		
(2)	受託工事収益	92,200		
(3)	その他営業収益	<u>29,428,873</u>	468,665,733	
2	営業費用			
(1)	原水及び浄水費	233,004,378		
(2)	配水及び給水費	62,065,064		
(3)	受託工事費	80,000		
(4)	総係費	78,244,369		
(5)	減価償却費	320,199,474		
(6)	資産減耗費	15,102,862		
(7)	その他営業費用	<u>190,547</u>	<u>708,886,694</u>	
	営業損失			240,220,961
3	営業外収益			
(1)	受取利息及び配当金	274,971		
(2)	補助金	900,000		
(3)	長期前受金戻入	127,895,123		
(4)	加入金	3,235,000		
(5)	雑収益	<u>5,408,874</u>	137,713,968	
4	営業外費用			
(1)	支払利息及び 企業債取扱諸費	25,239,270		
(2)	雑支出	<u>250,441</u>	<u>25,489,711</u>	<u>112,224,257</u>
	経常損失			127,996,704
5	特別利益			
(1)	過年度損益修正益	<u>3,150</u>	3,150	

6 特別損失	円	円	円
(1) 固定資産売却損	4,045,273		
(2) 過年度損益修正損	<u>49,325</u>	<u>4,094,598</u>	<u>△ 4,091,448</u>
当期純損失			132,088,152
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			<u>106,813,410</u>
当期末処理欠損金			<u><u>25,274,742</u></u>

(イ) 見附市水道事業貸借対照表
(令和7年3月31日)

資 産 の 部			
	円	円	円
1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
ア 土地		220,693,904	
イ 建物	2,826,554,521		
減価償却累計額	<u>△ 253,267,197</u>	2,573,287,324	
ウ 構築物	19,363,284,492		
減価償却累計額	<u>△ 9,918,366,332</u>	9,444,918,160	
エ 機械及び装置	3,646,837,218		
減価償却累計額	<u>△ 978,265,826</u>	2,668,571,392	
オ 車両運搬具	28,768,779		
減価償却累計額	<u>△ 6,284,085</u>	22,484,694	
カ 工具器具及び備品	53,264,233		
減価償却累計額	<u>△ 36,472,846</u>	16,791,387	
キ 建設仮勘定		<u>18,200,000</u>	
有形固定資産合計			14,964,946,861
(2) 無形固定資産			
ア 庁舎利用権		11,263,000	
(3) 投資その他の資産			
ア 投資有価証券		<u>680,121,000</u>	
固定資産合計			15,656,330,861
2 流動資産			
(1) 現金預金		3,607,695,487	
(2) 未収金	120,415,361		
貸倒引当金	<u>△ 721,792</u>	119,693,569	
(3) 貯蔵品		12,878,209	
(4) 前払金		<u>548,384</u>	
流動資産合計			<u>3,740,815,649</u>
資産合計			<u><u>19,397,146,510</u></u>

負 債 の 部			
	円	円	円
3 固定負債			
(1) 企業債			
ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	6,196,977,729		
(2) 引当金			
ア 退職給付引当金	78,475,003		
固定負債合計			6,275,452,732
4 流動負債			
(1) 企業債			
ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	252,243,487		
(2) 未払金	210,309,319		
(3) 引当金			
ア 賞与引当金	7,708,059		
(4) その他流動負債	6,061,242		
流動負債合計			476,322,107
5 繰延収益			
(1) 長期前受金			
ア 長期前受金	8,547,490,471		
収益化累計額	△ 3,677,205,860		
繰延収益合計			4,870,284,611
負債合計			11,622,059,450
資 本 の 部			
6 資本金			4,013,475,961
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
ア 受贈財産評価額	39,535,481		
(2) 利益剰余金			
ア 減債積立金	1,941,137,268		
イ 建設改良積立金	1,717,590,594		
ウ 当年度未処分利益剰余金	63,347,756		
利益剰余金合計		3,722,075,618	
剰余金合計			3,761,611,099
資本合計			7,775,087,060
負債資本合計			19,397,146,510

(4) 重要契約の要旨(2,000万円以上)

該当事項なし

(5) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

借入先	前期末残高	当期借入高	当期償還高	当期末残高
	円	円	円	円
財 務 省	5,458,443,115	0	69,116,722	5,389,326,393
地方公共団体金融機構	900,496,252	200,000,000	40,601,429	1,059,894,823
計	6,358,939,367	200,000,000	109,718,151	6,449,221,216

イ 一時借入金

該当事項なし

(6) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし

令和7年度水道事業会計予算の概要

令和7年度 見附市水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和7年度見附市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水戸数	20,381 戸
(2) 年間総給水量	6,534,713 m ³
(3) 一日平均給水量	17,903 m ³
(4) 主要な建設改良事業	配水管布設等建設工事 22,000 千円
	配水管布設替等改良工事 479,670 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 水道事業収益	1,303,000 千円	
第1項 営業収益	1,025,826 千円	
第2項 営業外収益	277,074 千円	
第3項 特別利益	100 千円	
	支	出
第1款 水道事業費用	1,318,000 千円	
第1項 営業費用	1,223,878 千円	
第2項 営業外費用	93,922 千円	
第3項 特別損失	100 千円	
第4項 予備費	100 千円	

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額508,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額50,908千円、当年度分損益勘定留保資金391,402千円及び減債積立金65,690千円で補てんするものとする。)。

	収	入
第1款 資本的収入	448,000 千円	
第1項 企業債	399,300 千円	
第2項 負担金	48,700 千円	
	支	出
第1款 資本的支出	956,000 千円	
第1項 建設改良費	703,756 千円	
第2項 企業債償還金	252,244 千円	

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、記載の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額(千円)	起債の方法	利 率	償還の方法
配水管布設替事業	399,300	普通貸借 又は 証券発行	年4.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金及び地方公共団体金融機構資金については、その融資条件により、銀行その他の資金については、その融通条件又は協定による。 ただし、企業財政等の都合により繰上償還し、又は償還年限を短縮し、若しくは低利債への借換えができるものとする。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、100,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用、営業外費用の各項間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 124,136 千円

(他会計からの補助金)

第9条 水道事業に助成するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、936千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、7,000千円と定める。

経営方針

1 基本計画

- (1) 水道事業の健全経営を維持し、清浄低廉な水を豊富に供給すること。
- (2) 老朽配水管の布設替、配水管網の整備等建設改良に努めること。

見 附 市 下 水 道 事 業 業 務 状 況 報 告 書

(令和6年10月1日～令和7年3月31日)

1 事業の概況

当期も快適な生活環境の確保のため、公共下水道事業では計画的に区域の整備を行いました。当年度末時点の面整備は、認可区域面積1,213.2haのうち958.1haが完了し、面整備進捗率は79.0%、普及率は99.7%となりました。また、農業集落排水事業の面整備は平成16年度ですべて完了しており、南部地区47ha、上北谷地区168ha、合計215haの地区内すべての世帯で供用を開始しています。

当期の有収水量は公共下水道事業が1,728,079m³で前年度同期の1,752,778m³と比較して24,699m³の減少、農業集落排水事業が129,600m³で前年度同期の131,312m³と比較して1,712m³の減少となりました。当期の下水道使用料は295,420,480円で前年度同期の299,225,250円と比較して3,804,770円の減収、農業集落排水施設使用料は21,878,400円で前年度同期の22,133,280円と比較して254,880円の減収となりました。(金額は税抜き)。

当期の契約では、建設事業において汚水施設 8件 7,315千円、改良工事においては農集施設 3件 8,514千円、保存工事においては汚水施設 1件 11,550千円、雨水施設 2件 2,097千円の契約を行いました。

今後も更なる企業努力を図り、計画的な施設の維持管理と効率的な運営に努めてまいります。

2 工 事

(1) 建設工事の概況

ア 汚水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	備考
			円	
下水単工第25号	今町第2処理分区汚水柵その19下水道新設工事	1箇所	1,518,000	今町4丁目
下水単工第26号	双葉処理分区汚水柵その20下水道新設工事	1箇所	759,000	双葉町
下水単工第27号	今町第2処理分区汚水柵その22下水道新設工事	1箇所	671,000	上新田町
下水単工第28号	中部処理分区汚水柵その21下水道新設工事	1箇所	935,000	元町2丁目
下水単工第29号	葛巻処理分区汚水柵その23下水道新設工事	1箇所	825,000	葛巻町
下水単工第30号	本所処理分区汚水柵その24下水道新設工事	1箇所	748,000	柳橋町
下水単工第33号	本所処理分区汚水柵その25下水道新設工事	1箇所	792,000	昭和町2丁目
下水単工第36号	細越処理分区汚水柵その26下水道新設工事	1箇所	1,067,000	細越1丁目
	計		7,315,000	

(2) 改良工事の概況

ア 農集施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	備考
			円	
下水単工第24号	上北谷地区No.14マンホールポンプ更新工事	2台	4,290,000	池之島町
下水単工第32号	上北谷地区No.15-1マンホールポンプ更新工事	1台	2,970,000	池之島町
下水単工第35号	上北谷地区No.11-1マンホールポンプ更新工事	1台	1,254,000	堀溝町
	計		8,514,000	

(3) 保存工事の概況

ア 汚水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	備考
			円	
下水修工第6号	葛巻下水処理場 高圧受変電設備更新(その2) 工事	一式	11,550,000	葛巻2丁目
	計		11,550,000	

イ 雨水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	備考
			円	
下水修工第7号	市野坪町除塵機監視通報装置設置工事	一式	1,210,000	市野坪町
下水修工第9号	本所2号雨水幹線水路敷コンクリート打設 工事	一式	886,600	昭和町1丁目
	計		2,096,600	

3 業 務

(1) 業 務 量

(ア) 公共下水道事業

事 項		令和6年度 (10月～3月)	令和5年度 (10月～3月)	比 較	
				増 減	比 率 (%)
現在最大 処理水量	ア 晴天時 (m ³ /日)	17,280	19,564	△ 2,284	88.3
	イ 雨天時 (m ³ /日)	43,877	44,104	△ 227	99.5
現在晴天時 平均処理水量 (m ³ /日)		12,212	11,926	286	102.4
当 期 総 処 理 水 量 (m ³)		6,823,774	7,049,197	△ 225,423	96.8
内 訳	ア 汚 水 処 理 水 量 (m ³)	2,930,741	2,978,717	△ 47,976	98.4
	イ 雨 水 処 理 水 量 (m ³)	369,093	505,409	△ 136,316	73.0
当 期 有 収 水 量 (m ³)		1,728,079	1,752,778	△ 24,699	98.6
有 収 水 量 率 (%)		59.0	58.8	0.2	100.3

(イ) 農業集落排水事業

事 項		令和6年度 (10月～3月)	令和5年度 (10月～3月)	比 較	
				増 減	比 率 (%)
現在最大 処理水量	ア 晴天時 (m ³ /日)	929	949	△ 20	97.9
	イ 雨天時 (m ³ /日)	－	－	－	－
現在晴天時 平均処理水量 (m ³ /日)		742	745	△ 3	99.6
当 期 総 処 理 水 量 (m ³)		150,083	160,696	△ 10,613	93.4
内 訳	ア 汚 水 処 理 水 量 (m ³)	150,083	149,392	691	100.5
	イ 雨 水 処 理 水 量 (m ³)	－	－	－	－
当 期 有 収 水 量 (m ³)		129,600	131,312	△ 1,712	98.7
有 収 水 量 率 (%)		86.4	87.9	△ 1.5	98.3

(2) 予算執行状況

(ア)収益的收入及び支出

収 入

区 分	現 計 予 算	収 入 額	執 行 率	備 考
第1款 下水道事業収益	円 2,073,000,000	円 1,052,130,806	50.8%	(うち仮受消費税 31,731,342 円)
第1項 営業収益	980,534,000	465,823,483	47.5%	(うち仮受消費税 31,728,679 円)
第2項 営業外収益	1,092,366,000	586,307,323	53.7%	(うち仮受消費税 2,663 円)
第3項 特別利益	100,000	0	0.0%	

支 出

区 分	現 計 予 算	支 出 額	執 行 率	備 考
第1款 下水道事業費用	円 2,090,474,302	円 1,063,718,503	50.9%	(うち仮払消費税 34,626,224 円)
第1款 営業費用	1,944,792,302	998,060,589	51.3%	(うち仮払消費税 34,627,232 円)
第2款 営業外費用	145,118,000	65,656,282	45.2%	(うち仮払消費税 △ 1,008 円)
第3款 特別損失	100,000	1,632	1.6%	(うち仮払消費税 105,800 円)
第4款 予備費	464,000	0	0.0%	(確定消費税 △ 2,042,929 円)

(イ)資本的收入及び支出

収 入

区 分	現 計 予 算	収 入 額	執 行 率	備 考
第1款 資本的收入	円 1,188,138,550	円 729,707,014	61.4%	(うち仮受消費税 0 円)
第1項 企業債	787,826,000	593,250,000	75.3%	
第2項 他会計負担金	91,419,000	42,071,614	46.0%	
第3項 国庫補助金	237,938,550	93,169,600	39.2%	
第4項 負担金等	70,293,000	1,153,800	1.6%	
第5項 長期貸付金償還金	662,000	62,000	9.4%	

支 出

区 分	現 計 予 算	支 出 額	執 行 率	備 考
第1款 資本的支出	円 1,876,579,700	円 813,209,969	43.3%	(うち仮払消費税 24,098,781 円)
第1項 建設改良費	862,596,700	302,148,486	35.0%	(うち仮払消費税 24,098,781 円)
第2項 企業債償還金	1,012,593,000	511,061,483	50.5%	
第3項 長期貸付金	1,390,000	0	0.0%	

(3)財 務 諸 表

(ア)見附市下水道事業損益計算書
(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 下水道使用料	317,298,880		
ア 下水道使用料	295,420,480		
イ 農業集落排水施設 使用料	21,878,400		
(2) 雨水負担金	116,768,924		
(3) その他営業収益	27,000	434,094,804	
2 営業費用			
(1) 汚水管渠費	48,393,927		
(2) 雨水管渠費	22,658,346		
(3) 農集管渠費	8,047,768		
(4) ポンプ場費	10,181,472		
(5) 葛巻処理場費	73,085,324		
(6) 今町処理場費	109,903,284		
(7) 南部処理場費	7,807,457		
(8) 上北谷処理場費	9,231,064		
(9) 総係費	92,183,453		
(10) 減価償却費	569,632,811		
(11) 資産減耗費	12,308,451		
(12) その他営業費用	2,507	963,435,864	
営業損失			529,341,060
3 営業外収益			
(1) 他会計補助金	59,963,475		
(2) 国庫補助金	△ 9,468,230		
(3) 他会計負担金	201,798,217		
(4) 長期前受金戻入	260,410,118		
(5) 元金償還に係る 長期前受金戻入	70,827,757		
(6) 雑収益	250,890	583,782,227	

	円	円	円
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	65,627,124		
(2) 雑支出	<u>11,827,818</u>	<u>77,454,942</u>	<u>506,327,285</u>
経常損失			23,013,775
5 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>1,632</u>	<u>1,632</u>	<u>1,632</u>
当期純損失			23,015,407
前年度未処理欠損金			0
当年度未処理欠損金			<u><u>23,015,407</u></u>

(イ) 令和6年度見附市下水道事業貸借対照表
(令和7年3月31日)

資 産 の 部

円 円 円 円

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア 土地 421,585,200

イ 建物 1,134,465,457

減価償却累計額 △ 410,129,710 724,335,747

ウ 構築物 35,503,967,623

減価償却累計額 △ 9,883,996,930 25,619,970,693

エ 機械及び装置 4,956,159,800

減価償却累計額 △ 2,779,273,772 2,176,886,028

オ 車両運搬具 7,467,196

減価償却累計額 △ 5,872,316 1,594,880

カ 工具器具及び備品 23,355,284

減価償却累計額 △ 19,292,390 4,062,894

キ 建設仮勘定 107,300,000

有形固定資産合計 29,055,735,442

(2) 無形固定資産

ア ソフトウェア 1,841,400

固定資産合計 29,057,576,842

2 流動資産

(1) 現金預金 618,019,261

(2) 未収金 61,620,613

貸倒引当金 △ 573,794 61,046,819

(3) 前払金 2,700,000

流動資産合計 681,766,080

資産合計 29,739,342,922

負債の部

円

円

円

3 固定負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源
に充てるための企業債

8,854,681,756

イ その他の企業債

1,714,932,831

企業債合計

10,569,614,587

(2) リース債務

(2) 引当金

ア 退職給付引当金

57,609,388

固定負債合計

10,627,223,975

4 流動負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源
に充てるための企業債

780,224,172

イ その他の企業債

162,693,483

企業債合計

942,917,655

(2) 未払金

122,230,386

(3) 引当金

ア 賞与引当金

5,417,055

(4) その他流動負債

8,080,000

流動負債合計

1,078,645,096

5 繰延収益

(1) 長期前受金

ア 長期前受金

19,469,532,638

収益化累計額

△ 6,791,740,278

繰延収益合計

12,677,792,360

負債合計

24,383,661,431

資本の部

6 資本金

3,837,723,027

7 剰余金

(1) 資本剰余金

ア 受贈財産評価額

5,342,284

イ 補助金

192,540,176

ウ 他会計補助金

1,302,233,725

エ 他会計負担金

75,186,640

資本剰余金合計

1,575,302,825

(2) 利益剰余金

ア 当年度未処理欠損金

57,344,361

利益剰余金合計

△ 57,344,361

剰余金合計

1,517,958,464

資本合計

5,355,681,491

負債資本合計

29,739,342,922

(4) 重要契約の要旨 (2,000万円以上)

契約年月日	契約金額	契約の内容	契約の相手
令和 6.12.25	円 62,700,000	下水補工第8号 貝喰川右岸排水区 476-1、476-2 雨水渠整備工事	丸勝建設(株)
7.3.18	28,545,000	下水補工第9号 今町終末処理場塩素混和池耐震補強(その3)工事	(株)吉田建設
7.3.18	33,770,000	下水補工第10号 葛巻ポンプ場No.3し渣搬出機更新工事	昱工業(株)

(5) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

借入先	前期末残高	当期借入高	当期償還高	当期末残高
	円	円	円	円
財 務 省	3,162,840,083	308,000,000	170,237,036	3,255,504,965
地方公共団体金融機構	7,580,438,989	216,200,000	246,127,405	7,550,511,584
市 中 銀 行	687,064,653	69,050,000	94,697,042	706,515,693
計	11,430,343,725	593,250,000	511,061,483	11,512,532,242

(6) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし

令和7年度下水道事業会計予算の概要

令和7年度 見附市下水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和7年度見附市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 接続戸数	14,780 戸
(2) 年間有収水量	3,888,573 m ³
(3) 一日平均有収水量	10,654 m ³
(4) 主要な建設改良事業	
汚水管渠建設工事	225,000 千円
汚水管渠改築工事	148,000 千円
汚水処理場改築工事	67,200 千円
農集管渠改築工事	4,500 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 下水道事業収益	2,042,000 千円	
第1項 営業収益	981,106 千円	
第2項 営業外収益	1,060,794 千円	
第3項 特別利益	100 千円	
	支	出
第1款 下水道事業費用	1,988,000 千円	
第1項 営業費用	1,845,468 千円	
第2項 営業外費用	142,332 千円	
第3項 特別損失	100 千円	
第4項 予備費	100 千円	

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額681,000千円は、過年度分損益勘定留保資金308,267千円及び当年度分損益勘定留保資金372,733千円で補てんするものとする。)。

収 入	
第1款 資本的収入	807,000 千円
第1項 企業債	563,300 千円
第2項 他会計負担金	84,992 千円
第3項 国庫補助金	155,000 千円
第4項 負担金等	3,069 千円
第5項 長期貸付金償還金	639 千円
支 出	
第1款 資本的支出	1,488,000 千円
第1項 建設改良費	543,539 千円
第2項 企業債償還金	943,685 千円
第3項 長期貸付金	776 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限度額(千円)
排水設備設置資金融資による融資先に対する損失補償契約	令和8年度から 令和13年度まで	貸付金とその利息

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額(千円)	起債の方法	利 率	償還の方法
建設改良事業	340,800	普通貸借 又は 証券発行	年4.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金及び地方公共団体金融機構資金については、その融資条件により、銀行その他の資金については、その融通条件又は協定による。 ただし、企業財政等の都合により繰上償還し、又は償還年限を短縮し、若しくは低利債への借換えができるものとする。 その他事業の進捗状況等により前借りをすることができるものとする。
下水道事業債 (特別措置分)	28,900			
借換債 (特別措置分)	33,600			
資本費平準化債	160,000			

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、1,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用、営業外費用の各項間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 88,762 千円

(他会計からの補助金)

第10条 下水道事業に助成するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、46,124千円である。

経営方針

1 基本計画

- (1)収入増加・確保、経費削減・抑制を図り、下水道経営の健全化に努める。
- (2)住宅地等の浸水防止のため、緊急性、効率性等を検討し、効果的な雨水排水整備を進める。

見 附 市 病 院 事 業 業 務 状 況 報 告 書

(令和6年10月1日～令和7年3月31日)

1. 事業の概況

令和6年度は、地域包括ケア病棟の円滑な運用により入院患者数が増加し、入院収益が伸びました。一方、外来患者数が減少し、外来収益が減少しました。また、介護老人保健施設「ケアプラザ見附」では、前年度に引き続き新型コロナウイルス集団感染による影響を受け、前年同期より若干減少しました。この様な状況のなか、地域のニーズに応え自治体病院の役割を果たすべく病院事業を運営しました。

当期の病院運営状況について、入院延患者数は15,817人、一日平均86.9人で病床利用率92.4%となり、前年同期と比較し、延患者数は123人、一日平均で1.1人増加しました。外来延患者数は19,601人、一日平均163.3人、前年同期と比較し、延患者数は942人、一日平均で7.9人減少しました。

ケアプラザ見附の利用状況は入所延利用者数16,146人、一日平均88.7人で、前年同期と比較し、延入所者数は505人、一日平均で2.3人減少しました。通所利用は、通所延利用者数3,905人、一日平均25.7人、前年同期と比較し延通所者数は99人、一日平均で4.4人増加しました。

収益的収入については、医業収益が956,543千円(ケアプラザ見附の介護報酬収入と利用料収入および受託料収入247,838千円を含む)となり、前年同期より32,968千円の減収となりました。この主な原因は、ケアプラザ見附の利用者数、新型コロナワクチン等の予防接種数の減少によるものです。また、医業外収益として一般会計から地方公営企業法上の繰出基準に基づく負担金258,706千円と、基準外補助金として60,000千円を繰入れました。

一方、収益的支出については、医業費用が1,392,413千円(ケアプラザ見附に係る事業費410,874千円を含む)となり、前年同期より55,146千円増加しました。これは職員給与改定による人件費の増、および物価高騰による材料費の増によるものです。この結果、医業収益に対する医業費用の割合は、145.6%となり、前年同期に比較して10.5ポイント増加しました。また、医業外費用は41,133千円となり、前年同期より10,236千円減少しました。

資本的収支については、収入は建物附属設備・医療機器整備等の建設改良費の財源に充てるための企業債48,600千円を借り入れるとともに、一般会計からの繰入金として企業債元金償還に係る負担金37,100千円を繰入れました。支出は建物附属設備・医療機器整備等の建設改良費として61,683千円と、企業債元金償還113,485千円を執行しました。

2. 業 務

(1) 業務量

ア 病 院

項 目			令和 6 年度	令和 5 年度	比 較	
					増 減	比 率
入	患者数	内 科 (人)	14,827	14,760	67	100.5%
		外 科 (人)	503	542	△ 39	92.8%
		整 形 外 科 (人)	487	392	95	124.2%
		計 (人)	15,817	15,694	123	100.8%
		一日平均 (人)	86.9	85.8	1.1	101.3%
院	収 入	内 科 (円)	475,701,396	458,267,941	17,433,455	103.8%
		外 科 (円)	15,614,740	18,242,384	△ 2,627,644	85.6%
		整 形 外 科 (円)	15,092,537	12,022,913	3,069,624	125.5%
		計 (円)	506,408,673	488,533,238	17,875,435	103.7%
外	患者数	内 科 (人)	12,689	13,248	△ 559	95.8%
		神 経 内 科 (人)	624	610	14	102.3%
		小 児 科 (人)	495	592	△ 97	83.6%
		形 成 外 科 (人)	327	441	△ 114	74.1%
		外 科 (人)	782	790	△ 8	99.0%
		整 形 外 科 (人)	4,397	4,625	△ 228	95.1%
		脳神経外科 (人)	95	110	△ 15	86.4%
		放 射 線 科 (人)	192	127	65	151.2%
		計 (人)	19,601	20,543	△ 942	95.4%
		一日平均 (人)	163.3	171.2	△ 7.9	95.4%
来	収 入	内 科 (円)	132,342,282	136,686,413	△ 4,344,131	96.8%
		神 経 内 科 (円)	2,851,389	2,597,508	253,881	109.8%
		小 児 科 (円)	2,315,296	3,305,938	△ 990,642	70.0%
		形 成 外 科 (円)	2,000,494	2,091,940	△ 91,446	95.6%
		外 科 (円)	8,617,091	8,729,905	△ 112,814	98.7%
		整 形 外 科 (円)	24,150,020	26,384,186	△ 2,234,166	91.5%
		脳神経外科 (円)	653,177	1,057,312	△ 404,135	61.8%
		放 射 線 科 (円)	3,265,200	2,783,170	482,030	117.3%
		計 (円)	176,194,949	183,636,372	△ 7,441,423	95.9%

イ 老人保健施設

項 目		令和 6 年度	令和 5 年度	比 較	
				増 減	比 率
利用者数	延 入 所 者 数 (人)	16,146	16,651	△ 505	97.0%
	一 日 平 均 入 所 者 数 (人)	88.7	91.0	△ 2.3	97.5%
	延 通 所 者 数 (人)	3,905	3,806	99	102.6%
	一 日 平 均 通 所 者 数 (人)	25.7	21.3	4.4	120.7%
	総 合 事 業 利 用 者 数 (人)	361	432	△ 71.0	83.6%
	居 宅 支 援 件 数 (件)	478	472	6	101.3%
収 入	入所者介護報酬収益 (円)	166,022,966	170,943,337	△ 4,920,371	97.1%
	通所者介護報酬収益 (円)	32,968,410	33,549,540	△ 581,130	98.3%
	計 (円)	198,991,376	204,492,877	△ 5,501,501	97.3%
	入所者施設利用料 (円)	36,198,089	34,462,290	1,735,799	105.0%
	通所者施設利用料 (円)	3,107,742	2,870,146	237,596	108.3%
	計 (円)	39,305,831	37,332,436	1,973,395	105.3%
	総 合 事 業 介 護 報 酬 (円)	983,722	1,738,140	△ 754,418	56.6%
	居 宅 支 援 介 護 報 酬 (円)	7,571,970	7,236,000	335,970	104.6%
	居 宅 支 援 受 託 料 (円)	984,900	814,100	170,800	121.0%

(2) 予算執行状況

(ア) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予算額			収入額	執行率	備 考
	現計予算額	地方公営 企業法第 24条第3項 の規定に よる支出 額に係る 財源充当 額	合計			
第1款 病院事業収益	円 2,495,000,000	円 0	円 2,495,000,000	円 2,372,029,689	% 95.1%	
第1項 医業収益	2,070,654,000	0	2,070,654,000	1,944,262,455	93.9%	
第2項 医業外収益	424,246,000	0	424,246,000	427,767,234	100.8%	
第3項 特別利益	100,000	0	100,000	0	0.0%	

支 出

区 分	予算額			支出額	執行率	備 考
	現計予算額	地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰越額	合計			
第1款 病院事業費用	円 2,603,200,000	円 0	円 2,603,200,000	円 2,445,477,841	% 93.9%	
第1項 医業費用	2,566,227,000	0	2,566,227,000	2,417,977,349	94.2%	
第2項 医業外費用	36,473,000	0	36,473,000	27,297,413	74.8%	
第3項 特別損失	400,000	0	400,000	203,079	50.8%	
第4項 予備費	100,000	0	100,000	0	0.0%	

(イ) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予算額			収入額	執行率
	現計予算額	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額に係る財源 充当額	合計		
第1款 資本的収入	円 124,000,000	円 0	円 124,000,000	円 85,700,000	% 69.1%
第1項 企業債	85,900,000	0	85,900,000	48,600,000	56.6%
第2項 負担金	38,100,000	0	38,100,000	37,100,000	97.4%

支 出

区 分	予算額			支出額	執行率
	現計予算額	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額に係る財源 充当額	合計		
第1款 資本的支出	円 220,000,000	円 0	円 220,000,000	円 175,168,378	% 79.6%
第1項 建設改良費	104,474,000	0	104,474,000	61,683,050	59.0%
第2項 企業債償還金	115,526,000	0	115,526,000	113,485,328	98.2%

(3) 財 務 諸 表

(ア) 見附市病院事業損益計算書
(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

1 医 業 収 益	円	円	円
(1) 入 院 収 益	493,470,782		
(2) 外 来 収 益	178,786,779		
(3) その他医業収益	<u>284,285,406</u>	956,542,967	
2 医 業 費 用			
(1) 給 与 費	989,021,929		
(2) 材 料 費	80,780,912		
(3) 経 費	219,865,509		
(4) 減 価 償 却 費	96,492,994		
(5) 資 産 減 耗 費	3,069,345		
(6) 研 究 研 修 費	<u>3,182,728</u>	<u>1,392,413,417</u>	
医 業 損 失			435,870,450
3 医業外収益			
(1) 補 助 金	60,000,000		
(2) 負 担 金 交 付 金	258,801,000		
(3) 患者外給食収益	466,279		
(4) 長期前受金戻入	46,739,275		
(5) その他医業外収益	<u>12,656,026</u>	378,662,580	
4 医 業 外 費 用			
(1) 支払い利息及び 企業債取扱諸費	4,353,114		
(2) 患者外給食材料費	338,342		
(3) 雑 損 失	<u>36,441,864</u>	<u>41,133,320</u>	<u>337,529,260</u>
経 常 損 失			98,341,190
5 特 別 損 失			
(1) 過年度損益修正損	<u>182,599</u>	<u>182,599</u>	<u>182,599</u>
当期純損失			98,523,789
前期繰越未処理損失			1,461,080,942
当期末処理欠損金			<u><u>1,559,604,731</u></u>

(イ) 見附市病院事業貸借対照表

(令和7年3月31日)

資 産 の 部

1 固 定 資 産	円	円	円	円
(1) 有 形 固 定 資 産				
ア 土 地		46,817,934		
イ 建 物	5,316,531,931			
減価償却累計額	<u>△ 3,231,740,349</u>	2,084,791,582		
ウ 構 築 物	333,132,039			
減価償却累計額	<u>△ 256,969,862</u>	76,162,177		
エ 器 械 備 品	923,663,289			
減価償却累計額	<u>△ 666,835,004</u>	256,828,285		
オ 車 輜	14,306,814			
減価償却累計額	<u>△ 12,576,613</u>	1,730,201		
カ リース資産	15,473,640			
減価償却累計額	<u>△ 14,699,958</u>	<u>773,682</u>		
有形固定資産合計			2,467,103,861	
(2) 無 形 固 定 資 産				
ア 電 話 加 入 権		1,647,464		
イ 施 設 利 用 権		<u>8,057,449</u>		
無形固定資産合計			<u>9,704,913</u>	
固 定 資 産 合 計				2,476,808,774
2 流 動 資 産				
(1) 現 金 預 金			145,721,501	
(2) 未 収 金		685,804,141		
貸倒引当金		<u>△ 7,723,828</u>	678,080,313	
(3) 貯 蔵 品			9,883,255	
流動資産合計				<u>833,685,069</u>
資 産 合 計				<u><u>3,310,493,843</u></u>

負債の部

3 固定負債	円	円	円
(1) 企業債 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,552,845,053	
(2) 引当金 退職給付引当金		<u>670,785,448</u>	
固定負債合計			2,223,630,501
4 流動負債			
(1) 企業債 建設改良費等の財源に充てるための企業債		113,485,328	
(2) 未払金		109,758,697	
(3) 預り金		11,981,605	
(4) 引当金 賞与引当金		<u>89,332,208</u>	
流動負債合計			324,557,838
5 繰延収益			
長期前受金		2,411,865,474	
収益化累計額		<u>△ 1,306,312,387</u>	
繰延収益合計			<u>1,105,553,087</u>
負債合計			<u>3,653,741,426</u>
資本の部			
6 資本金			
(1) 資本金			1,252,244,963
7 剰余金			
(1) 資本金剰余金 ア 負担金		18,657,156	
(2) 欠損金 ア 前年度繰越欠損金	1,463,969,262		
イ 当年度未処理欠損金	<u>24,131,000</u>		
欠損金合計		<u>1,488,100,262</u>	
剰余金合計			<u>△ 1,469,443,106</u>
資本合計			<u>△ 217,198,143</u>
負債資本合計			<u>3,436,543,283</u>

(4) 企業債及び一時借入金の状況

(ア) 企業債

借入先	前期末残高	当期借入高	当期償還高	当期末残高
財務省	円 100,545,727	円 0	円 24,168,858	円 76,376,869
市中銀行	162,607,500	29,200,000	21,492,500	170,315,000
地方公共団体金融機構	1,346,600,087	19,400,000	11,246,903	1,354,753,184
計	1,609,753,314	48,600,000	56,908,261	1,601,445,053

(イ) 一時借入金

借入先	前期末残高	当期中における 借入残高最高額	当期末残高
水道事業会計	円 230,000,000	円 230,000,000	円 0

(5) その他経理に関する事項

該当事項なし

令和7年度病院事業会計予算の概要

令和7年度 見附市病院事業会計予算

(総 則)

第1条 令和7年度見附市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 病院

①病床数		94 床		
②年間延患者数	入院	32,500 人	外来	42,000 人
③一日平均患者数	入院	89.0 人	外来	171.5 人

(2) 介護老人保健施設

①定員数	入所	97 人	通所	25 人
②年間延利用者数	入所	34,500 人	通所	9,000 人
③一日平均利用者数	入所	94.5 人	通所	24.9 人

(3) 主要な建設改良事業

ケアプラザ見附GHP更新事業	5,894 千円
器械備品整備事業	33,514 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款 病院事業収益		2,463,000 千円
第1項 医業収益		2,060,220 千円
第2項 医業外収益		402,680 千円
第3項 特別利益		100 千円
支 出		
第1款 病院事業費用		2,628,000 千円
第1項 医業費用		2,599,525 千円
第2項 医業外費用		28,175 千円
第3項 特別損失		200 千円
第4項 予備費		100 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額99,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額36,170千円で補てんし、不足する額62,830千円は、退職給付引当金をもって補てんするものとする。なお、退職給与引当金をもって補てんする額は、後年度に留保する。）。

収 入		
第1款 資本的収入		58,500 千円
第1項 企業債		20,000 千円
第2項 負担金		38,500 千円
支 出		
第1款 資本的支出		157,500 千円
第1項 建設改良費		39,787 千円
第2項 企業債償還金		117,713 千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額(千円)	起債の方法	利 率	償還の方法
器械備品整備 事業	20,000	普通貸借 又は 証券発行	年4.0%以内 (ただし、利率見直 し方式で借り入れ る政府資金及び地 方公共団体金融 機構資金につい て、利率の見直し を行った後におい ては、当該見直し 後の利率)	政府資金及び地方公共団 体金融機構資金につい ては、その融通条件により、銀 行その他の資金については、 その融通条件又は協定によ る。ただし、企業財政等の 都合により繰上償還し、又は 償還年限を短縮し、若しくは 低利債への借換えができるも のとする。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、300,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 医業費用、医業外費用、特別損失の各項間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 1,732,549 千円

(2) 交際費 730 千円

(他会計からの補助金)

第9条 病院事業に助成するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、29,100千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、150,000千円と定める。

経営方針

1 基本計画

- (1) 病院事業の健全経営を維持し、市内の診療所との病診連携の役割分担に努めること。
- (2) 市の地域包括ケアシステムの中核施設としての役割を果たすこと。

2 基本方針

- (1) 私たちは、患者様の人権と尊厳を大切にします。
- (2) 私たちは、安全で安心できる医療を提供します。
- (3) 私たちは、日々研鑽し、働く喜びのある病院をつくります。
- (4) 私たちは、効率的で健全な経営に努めます。